

# 2024 年 電子情報通信学会 総合大会案内

大会テーマ：

## コミュニケーションが育む絆

開催日時：2024年3月4日（月）～2024年3月8日（金）

開催場所：広島大学 東広島キャンパス（東広島市）

総合大会オフィシャルホームページ

[https://www.ieice.org/jpn\\_r/activities/taikai/general/2024/index.html](https://www.ieice.org/jpn_r/activities/taikai/general/2024/index.html)

本書の掲載情報は、2023年10月30日時点のものです。掲載情報が変更になっている場合がありますので、最新情報につきましては、総合大会オフィシャルホームページにてご確認下さい。



主催：一般社団法人 電子情報通信学会

後援：広島大学



 **Micron**<sup>®</sup>

# 広島から世界を変える

世界トップクラスの半導体メモリメーカーである  
マイクロンには、多様な個性が集まります。  
ともに未来を創造する仲間を歓迎します。





90 YEARS  
OF "WHAT'S NEXT?"

アイデアを現実にするのが私たちのミッションです。  
私たちは、より安全に接続された世界を実現するために最善を尽くします。  
今日、明日、そしてその先も。

[www.rohde-schwarz.com](http://www.rohde-schwarz.com)

**ROHDE & SCHWARZ**

Make ideas real



## コロナ社刊行書籍のご案内

### 電子情報通信レクチャーシリーズ

(電子情報通信学会 編/各巻 B5判/既刊40点)

**A-9 電子物性とデバイス**  
益一哉・天川修平 共著/244頁/定価4,620円

**D-15 電波システム工学**  
唐沢好男・藤井威生 共著/228頁/定価4,290円

**B-7 コンピュータプログラミング**  
-Pythonでアルゴリズムを実装しながら問題解決を行う-  
富樫 敦 著/208頁/定価3,630円

**D-16 電磁環境工学**  
徳田正満 著/206頁/定価3,960円

### 情報ネットワーク科学シリーズ

(電子情報通信学会 監修/各巻A5判/全5巻)

**1. 情報ネットワーク科学入門**  
村田正幸・成瀬 誠 編著/230頁/定価3,300円

**3. 情報ネットワークの  
分散制御と階層構造**  
会田雅樹 著/230頁/定価3,300円

**2. 情報ネットワークの数理と最適化**  
-性能や信頼性を高めるためのデータ構造とアルゴリズム-  
巳波弘佳・井上 武 共著/200頁/定価2,860円

**4. ネットワーク・カオス**  
-非線形ダイナミクス,複雑系と情報ネットワーク-  
中尾裕也・長谷川幹雄・合原一幸 共著/262頁/定価3,740円

**5. 生命のしくみに学ぶ情報ネットワーク設計・制御**  
若宮直紀・荒川伸一 共著/166頁/定価2,420円

### メディアテクノロジーシリーズ

(各巻A5判/既刊3点)

**1. 3DCGの数理と応用**  
三谷 純 編/256頁/定価4,290円

**3. 可視化と科学・文化・社会**  
竹島由里子 編/240頁/定価4,180円

**2. 音楽情報処理**  
後藤真孝 編著/240頁/定価3,960円



#### ★シリーズ特設サイト開設★

本シリーズの特設サイトを開設いたしました。  
各書籍の詳細情報や、今後の刊行予定などが  
ご覧いただけます。

**プログラムがコンピュータで動く仕組み**  
-ハードウェア記述言語・CPUアーキテクチャ・  
アセンブラ・コンパイラ超入門-  
中野浩嗣・伊藤靖朗 共著/A5判/200頁/定価2,860円

**デジタル回路設計入門**  
-FPGA時代の論理回路設計-  
中野浩嗣・伊藤靖朗 共著/A5判/190頁/定価2,750円

(シリーズ 情報科学における確率モデル1)  
**統計的パターン認識と判別分析**  
栗田多喜夫・日高章理 共著/A5判/236頁/本体3,740円

(シリーズ 情報科学における確率モデル6)  
**確率システムにおける制御理論**  
向谷博明 著/A5判/270頁/本体4,290円

(シリーズ 基礎から学ぶスイッチング電源回路とその応用4)  
**基礎から学ぶコンバータ回路  
におけるEMI対策**  
谷口研二 著/A5判/198頁/定価3,410円

**ROSロボットで学ぶ  
次世代のIoTアーキテクチャ**  
田胡和哉 著/A5判/230頁/定価3,850円

**データ科学のための基礎数理**  
-情報数理・確率統計・パターン認識-  
後藤正幸 著/B5判/224頁/定価3,960円

**確率モデルを用いた統計的信号処理**  
片岡 駿 著/A5判/192頁/本体3,300円

科学技術と共に歩む



株式会社 **コロナ社**

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10  
TEL (03)3941-3131 (代), -3132, -3133 (営業部直通)  
https://www.coronasha.co.jp FAX (03)3941-3137  
E-mail eigyo@coronasha.co.jp



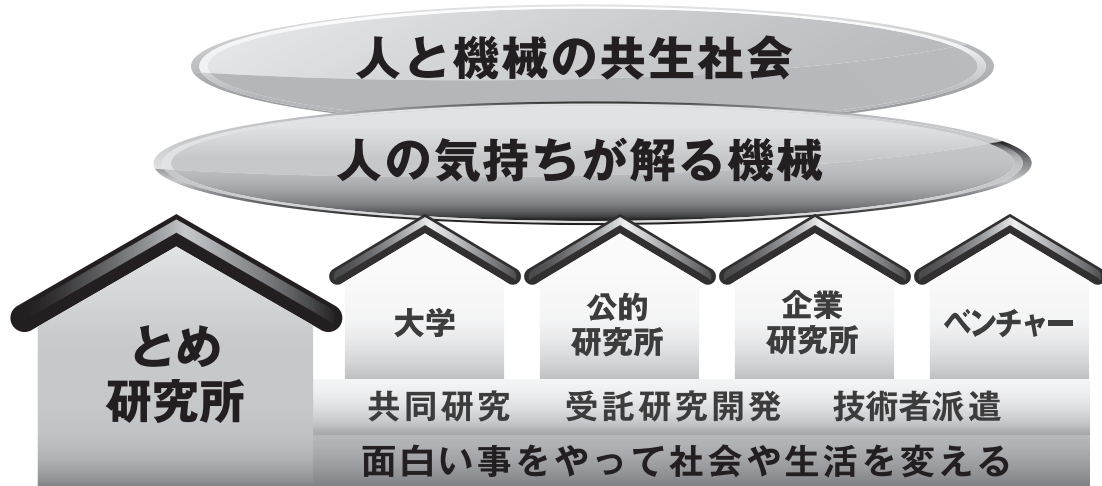
# とめ 株式会社とめ研究所

## 私たちが目指す社会

私たちが目指す社会、それは機械をより賢くし、"人と機械が共生する社会"をつくり、"生活が楽しくなる"こと。この思いに基づき、経営ビジョンを「人と機械の共生でもっと生活を楽しむ」にしています。

当社のエンジニアは皆、経営ビジョンに繋がる面白い技術的課題に向き合い、思う存分能力を発揮しています。そのような会社であり続けたい思いから、経営理念を「面白い事をして社会や生活を変える」にしています。

経営ビジョンの実現には幅広い分野での貢献が必要です。事業ミッション「お客様の研究開発へ貢献する“ソフトウェア研究開発受託会社”」のもと、日本全国の多くのお客様に貢献しています。



## 得意分野

知能情報処理技術(※)に関する、最先端ソフトウェアの調査、研究、開発、評価など  
※人工知能、機械学習・ディープラーニング、データサイエンス、画像処理、検査・計測・ロボット、自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御

## 高度な技術集団

エンジニアは5割が博士号取得者、8割が博士課程出身。物理、情報、数学など、幅広い専門分野出身のエンジニアが活躍。多様な課題をお客様とともに解決します。  
お客様からは「最新のアルゴリズムを提案して、プロトタイプを実装し試行錯誤してもらえる会社」、「唯一、研究者のイメージをソフト化できる。チームメンバーも信頼しています」とご評価頂いています。

人と機械の共生でもっと生活を楽しむ

とめ 株式会社とめ研究所

## 日本全国の研究開発を受託

独立系研究開発会社としての強みを活かし、日本を代表する大手企業研究所等のパートナーとして、先端の研究開発、技術者派遣で多くの実績があります。  
マルチラボ体制により、お客様に近いラボが担当いたします。

## 博士課程新卒、既卒者通年採用中

業務内容は最先端ソフトウェアの研究開発。人工知能、機械学習・ディープラーニング、データサイエンス、画像処理等のアルゴリズム研究開発。  
博士課程での研究で培った課題追究力、論理的思考力、実用的な数学(統計、シミュレーション、データ解析等)を重視。プログラミング技術は研修等で習得できます。  
詳細は当社HPを参照下さい。

URL : <https://www.tome.jp>

■本社ラボ ■京都ラボ ■京阪奈ラボ ■名古屋ラボ ■筑波ラボ ■横浜ラボ ■東京ラボ



電子情報通信学会

# IEICE EXPO 2024 HIROSHIMA

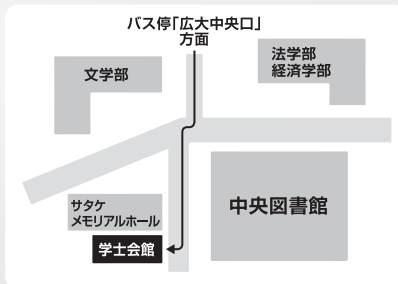
1. 各企業最新の製品・サービスを直接ご覧になれます。
2. 研究発表や人材採用についての交流・情報交換ができます。
3. 入れたてコーヒーとお菓子を無料提供。

講演の合間・休憩時間に、是非お気軽にお立ち寄りください。

開催日程	3月5日(火)	12:00~17:00
	3月6日(水)	8:30~17:00
	3月7日(木)	8:30~17:00
	3月8日(金)	8:30~17:00

会場 広島大学 東広島キャンパス  
学生会館2階 レセプションホール

## 会場案内図



**来場無料!**  
事前予約の必要なし!

お気軽に  
お越しください。

## スポンサー

- ・アンリツ
- ・KDDI総合研究所
- ・コロナ社
- ・テクノメディアラボ
- ・とめ研究所
- ・フォームファクター
- ・マイクロンメモリジャパン
- ・ローデ・シュワルツ・ジャパン
- ・ローム

## 出展社

- ◆ 機器・サービス展示
  - ・アイウェーブ
  - ・キーサイト・テクノロジー
  - ・新川電機
  - ・フォームファクター
  - ・マイクロンメモリジャパン
  - ・ローデ・シュワルツ・ジャパン
- ◆ 研究発表展示
  - ・KDDI総合研究所
  - ・村田製作所

(50音順・2023年11月22日現在)

主 催：一般社団法人 電子情報通信学会

お問い合わせ：電子情報通信学会 会員サービス課 [taikai-office@ieice.org](mailto:taikai-office@ieice.org)

# 電子情報通信学会総合大会案内

大会テーマ：コミュニケーションが育む絆

開催日時：2024年3月4日（月）～3月8日（金）

開催場所：広島大学 東広島キャンパス（東広島市）

## 目次

挨拶	3
大会委員長のご挨拶	3
総合大会行事	4
・プレナリーセッション	4
・企画セッション一覧	7
・ポスターセッション一覧	20
・特別イベント インターナショナルレセプション	21
・IEICE EXPO 2024 広島（企業展示）	21
・維持員交流会	21
・懇親会（Welcome Party）	21
・ランチョンセミナー	21
・スポンサーセッション	22
・学内ツアー 自然散策道「発見の小径」	22
・酒蔵のまちてくてくガイド	23
総合大会案内	24
・会場マップ	24
・聴講参加申込方法	25
・大会情報アラカルト	27
委員会	28
・大会委員会	28
・プログラム委員会	28
・開催校実行委員会（広島大学）	28

### お知らせ

IEICE Transactions Online 多言語翻訳トライアル 機械翻訳品質評価のためのアンケートへのご協力をお願い	19
今後の大会案内	25

## 大切なお知らせ

### 1. 2024 総合大会の開催方法について

2024 総合大会（広島大学）は、「対面形式」による現地開催となります。すべての講演は、広島大学において登壇して口頭発表することにより、講演成立とします。一般セッションについては、オンラインでの講演及び聴講は行いません。企画セッションでは、オンライン聴講（有料）することができますが、オンラインでの講演はありません。

### 2. 総合受付廃止/参加票持参のお願い

総合大会では、総合受付を設置致しません。参加者の方は、参加票を事前に印刷の上、ご持参くださいますようお願い致します。ネームホルダーにつきましては、各講演会場にてご用意しております。講演会場にて参加票のご提示をお願い致します。

### 3. セッション時間について

総合大会では、これまでの大会とセッション時間に変更となっております。  
ハーフセッションの時間帯は、9:00-10:30、10:45-12:15、13:45-15:15、15:30-17:00、フルセッションの時間帯は、9:00-12:15、13:45-17:00 となります。お昼休みは、12:15-13:45 となりますので、ご注意ください。

### 4. 大会アプリについて

2023 年ソサイエティ大会では、大会システム「Confit」を提供する株式会社アトラスの講演会アプリを利用致しましたが、株式会社アトラスにて、講演会アプリの提供終了が決定いたしました。このため 2024 年総合大会では大会アプリの提供はございません。何卒ご了承ください。

なお、大会アプリ提供中止に伴い、ウェブプログラム「Confit」のご利用をお願い致します。スマートフォンのブラウザでウェブプログラム「Confit」をブックマークしてご利用下さい。



## 挨拶：大会委員長のご挨拶



眞田 幸俊  
大会委員会委員長  
慶應義塾大学

電子情報通信学会大会委員会より総合大会をご案内するために、大会プログラムを会員の皆様にお送りします。本冊子をご覧いただければ従来とは異なった総合大会の概要が、ご理解いただけるかと存じます。会員の皆様により広く深い交流ができる場をご用意しております。

今回総合大会のテーマは「コミュニケーションが育む絆」です。実行委員長の藤島先生ならびに広島大学の皆様にご尽力をいただき、イブニングセッションを含め5日間の日程で対面形式により実施されます。

今回の大会からセッション構成が大きく変わりました。興味深い企画セッションを全日程に配置し、関連する企画に連日参加できるように配慮し、より深い議論をできるようになりました。これが実現したのは企画提案をしていただいた皆様のご理解とご協力によるものであり、大会委員長として大変感謝しております。また昨年のソサイエティ大会から改革してきた企業展示も、より発展した内容となっております。さらにアカデミックな企画だけでなく、エクスカージョンも用意されており、さながら国際会議のような充実した大会となっております。

このほかにも興味深い企画セッション、一般セッションが数多く開催されます。特に企画セッションは対面のほかライブストリーミングでも楽しめます。皆様のご講演、ご参加、ご聴講をお待ちしております。そして本大会のテーマの通り、多くの方々が広島大学に集まり、学術的な知見の交換だけでなくサービスや生産の現場と学術の橋渡しが行われることを期待しています。それらのコミュニケーションを通して新たな絆、つまり共同研究や共同開発などの協力関係が構築されることを願っております。また学生の皆さんにとっても、参加してためになる、新しい絆を作る、そして心に残る大会になると確信しております。

最後に、本大会開催にあたりご尽力いただいております広島大学の先生方、プログラムにご貢献していただいております各ソサイエティ、グループ、専門委員の皆様、そして事務局の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

# 総合大会行事

## 1. プレナリーセッション

日程・会場 2024年3月5日(火) 9:00-12:15 広島大学総合科学部 L102 講義室

### 会長挨拶「変わらないために変わり続ける」



森川 博之  
2023年度電子情報通信学会会長  
東京大学大学院教授

#### 略歴

1987年東京大学工学部電子工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。2006年東京大学大学院教授。音声認識、画像符号化、コンピュータビジョン分野から研究活動を開始し、無線通信システム、電波応用システム、新世代インターネット、光ネットワーク、ユビキタスネットワークなどに組み込み、現在はモノのインターネット／ビッグデータ／DX、6G、クラウドロボティクス、情報社会デザインなどの研究に従事。

電子情報通信学会論文賞(3回)、情報処理学会論文賞、情報通信学会論文賞、ドコモモバイルサイエンス賞、総務大臣表彰、志田林三郎賞、情報通信功績賞、大川出版賞などを受賞。

総務省情報通信審議会情報通信政策部会部会長／電気通信事業政策部会部会長、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)会長、ブロードバンドワイヤレスフォーラム会長、Beyond 5G新経営戦略センター長、5G利活用型社会デザイン推進コンソーシアム座長、シブヤ・スマートシティ推進機構会長、電力データ管理協会代表理事、スマートレジリエンスネットワーク代表幹事、情報社会デザイン協会代表理事などを務めながら、「ICTを成長戦略の一丁目一番地に」「ICTで地方を元気に」するために尽力している。2002～2007年情報通信研究機構モバイルネットワークグループリーダー。2012～2017年経済協力開発機構(OECD)デジタル経済政策委員会(CDEP)副議長。電子情報通信学会では、副会長、総務理事、編集理事、東京支部長などを歴任。

著書に「データ・ドリブン・エコノミー(ダイヤモンド社)」「5G 次世代移動通信規格の可能性(岩波新書)」など。

#### 概要

変わらないために変わり続ける。禅問答みたいなよくわからないフレーズですが、前半の「変わらないもの」が企業のパーパス(存在意義)、後半の「変わり続けるもの」が事業を成功させるための方策と理解すると、なんとなく理解できます。

「変わらないもの」が大切にされるようになってきた背景として、VUCAと言われる「Volatility: 変動性」「Uncertainty: 不確実性」「Complexity: 複雑性」「Ambiguity: 曖昧性」の時代になったことを挙げるすることができます。不確実性が高く将来の予測がとて難しくなりました。ロードマップを引くことができず、試行錯誤を繰り返しながら前に進んでいかざるを得ません。

われわれを取り巻く環境は容赦なく変わり続けています。電子情報通信学会の起源は 1917 年に創立された電信電話学会です。まだ 100 年しか経っていません。100 年後の 2123 年の電子情報通信学会は現在とはまったく異なる姿になっているかもしれません。企業と同じように、電子情報通信学会も変わり続けるはずです。

デジタルテクノロジーも、産業構造、経済構造、社会構造を大きく変えていきます。現在の世の中のあり方は過渡的なものであり、デジタルで新しいビジネスの余地が必ず生まれるというマインドをもって、新しい産業や社会制度の確立を目指していかなければいけません。デジタルで地域中小企業の生産性を向上させることができれば、地域経済の活性化のみならず、日本経済の成長・発展に資することもでき、まったく違った光景が見えてくるはずです。

デジタルシフトを加速し、社会や産業や経済の仕組みそのものの再定義を進めていかなければいけません。COVID-19 で得られた気づきをも大切にしながら将来を深く洞察し、社会、産業、生活、地方の変革に寄与し続けることができればと思っています。

「無形資産時代の価値創造」「マーケティングマイオピアと固定概念」「タスク型ダイバーシティ」といった視点が未来にバトンを渡すための鍵となることとお話します。

---

## 表彰式

1. 教育功労賞
  2. 学術奨励賞
  3. フェロー称号贈呈式
-

## 基調講演

### (1) 基調講演



講演者：木谷 昭博氏（マツダ（株）執行役員）

略歴：1982年（昭和57年）3月 当社入社

2019年（平成31年）4月 執行役員 MDI&IT 本部長

2021年（令和3年）4月 執行役員 MDI&IT 担当

2022年（令和4年）4月 常務執行役員 MDI&IT 担当

2023年（令和5年）6月 常務執行役員兼 CIO（最高情報責任者）MDI&IT・業務イノベーション担当

タイトル：人と IT の共創による価値創造

概要：マツダは、世界で唯一ロータリーエンジンの量産化技術を実現するなど、ものづくりや独自技術にこだわりのある会社である。自動車業界では比較的小規模で、限られたリソースの中で最も効率の良い開発、生産を追求するため、マツダデジタルイノベーションに早くから投資し、ものづくりのプロセスの効率化を進めてきた。

近年では組織横断型のビジネス構造改革を進め、人の意識が変わり、仕事が変わり、人が成長し、デジタル技術を駆使した変革行動をとれるようになってきた。本講演では、ものづくり企業における人と IT の共創による価値創造とビジネス構造改革の進展及び今後の展望を紹介する。

### (2) 基調講演



講演者：鈴木 潤氏（東北大学 教授）

略歴：2001年から2018年まで日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所に研究員（特別研究員）として勤務。2018年、東北大学大学院情報科学研究科准教授に着任。2020年にデータ駆動科学・AI教育研究センター教授に着任し。2023年10月より言語AI研究センターの新設とともにセンター長に就任（現職）。2005年奈良先端大学院大学博士後期課程修了 博士（工学）。2008-2009年 MIT CSAIL 客員研究員。2017年より理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員。2020年から2022年まで Google LLC Visiting Researcher。主として自然言語処理、機械学習、人工知能に関する研究に従事。言語処理学会理事、ACL Rolling Review Editors in Chief。

タイトル：対話型文章生成 AI の過去・現在・未来（仮）

概要：ChatGPTに代表される大規模言語モデル（Large Language Model、LLM）の登場により、人間が自然に話す言葉（自然言語）を用いて様々な日常業務に相当する情報処理を実行可能とした。また、新たなビジネスやサービスの創出に大きく寄与し、社会の在り方にも変容を促すような大きなインパクトを与えている。一方で、LLMが実サービスで利用されることで新たな技術的/社会的課題が浮き彫りにされ数多く議論されるようになった。本講演では、はじめに言語モデルや文章生成に関する研究に従事してきた研究者の観点から、昨今の言語モデルがどのように発展してきたかを簡単に説明し、現在様々な指示に応答できる主要因と考えられる技術や理論を独自の目線で解説する。また、現在注目されているいくつかの課題について、現在の到達点や注意点を含めて重要と考えられる幾つかを選出して紹介する。そして最後に、今後の言語モデル関連の研究トレンドや将来の応用可能性などについても議論したい。

## 2. 企画セッション一覧

※10月20日時点の情報です。日時、会場は変更になる場合があります。

企画セッションは、ZOOMによるオンライン聴講が可能です（視聴には聴講参加費のお支払いが必要です）。

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日（火） 15:30～17:00	【ソサイエティ特別企画】 未来のサイバーフィジカルシステムを支える制御と通信の融合  基礎・境界/高信頼制御通信研究専門委員会	座長：小林 孝一 講演者：岡野 訓尚、足立 亮介
概要：サイバーフィジカルシステム（CPS）とは、実世界（フィジカル）のデータを収集し、サイバー世界で分析し、実世界にフィードバックするシステムである。ロボットの遠隔制御やファクトリーオートメーションなど多くの場面で、CPSが重要となっている。高信頼なCPSを構築するためには、制御と通信の両方を考慮した設計手法が重要になっている。本セッションでは、制御と通信を統合した設計理論の最新動向を紹介し、今後の展望を議論する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日（火） 13:45～17:00	【シンポジウムセッション】 分野を超えて俯瞰する10年先の無線通信技術Ⅰ 物理レイヤーを支える各種要素技術  エレクトロニクス/マイクロ波研究専門委員会	座長：石川 亮、今井 翔平 講演者：加藤 悠人、真田 篤志、 前田 博己、西田 翼、山中 宏治、 笠松 章史
概要：Beyond 5G、6Gなどの次世代無線通信の実現に向け、国内でも様々な研究開発が進んでいる。本セッションでは、物理レイヤーを支える種々のアクティブ・パッシブのハードウェアコンポーネント、物性評価、等々に関する最新技術をご紹介いただく。なお、本セッションは、Beyond 5Gに向けた技術に関して集積回路研究専門委員会およびスマート無線研究専門委員会と連携した連続セッションの第1弾であり、3連携セッションを通じて幅広い関連技術に関する情報提供を図るものである。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日（火） 13:45～17:00	【シンポジウムセッション】 データセンターネットワーク周辺最新技術動向と 次世代短距離向け光通信システムの展望  通信/光通信システム研究専門委員会	座長：アミラ サムパット、調整 中 講演者：山本 秀人、磯野 秀樹、 菊池 信彦、内山 麻美、柳原 藍、 鈴木 純一、 Babu Dayal Padullaparthi
概要：依然として大規模データセンターにおけるデータトラフィックが爆発的に増大することが予想されており、光イーサネットをはじめとする比較的短距離のネットワークは更なる大容量化を経済的かつ低電力に実現する必要がある。データセンターネットワークの大容量化を支える短距離向け光伝送技術の研究開発は、従来の強度変調直接検波方式に限らず、デジタルコヒーレント方式などの導入も検討されており、学術会議や標準化会議での議論が加速している。本セッションでは、システム及びデバイス開発双方の観点から次世代短距離光接続の中核となる技術について現状の研究開発の状況を概観し、今後の展望を紹介する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日(火) 13:45~16:35	【シンポジウムセッション】 ミリ波・テラヘルツ通信の最新動向  通信/短距離無線通信研究専門委員会	座長：沢田 浩和 講演者：調整中
<p>概要：Beyond 5G/6G の高速・低遅延通信を実現するための周波数候補として、ミリ波・テラヘルツ波の利用が検討されている。現在は 100 GHz 以上の周波数帯を使用する無線通信システムの研究開発は初期段階にあり、各国で関連するプロジェクトが開始され、今後の動向にも注目が集まっている。そこで本セッションでは、ミリ波・テラヘルツ波無線通信に関する最新技術や国際標準化の動向について、講演者を募り将来の展望や課題について議論する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日(火) 13:45~16:45	【チュートリアルセッション】 広がる超伝導デジタル回路応用とその設計技術  エレクトロニクス/超伝導エレクトロニクス研究専門委員会	座長：三木 茂人 講演者：宮嶋 茂之、田中 雅光、Christopher Ayala、Olivia Chen
<p>概要：超伝導単一磁束量子（RSFQ）回路や、断熱磁束量子パラメトロン（AQFP）回路をはじめとする超伝導デジタル回路は、近年、超高速・超低電力コンピューティング応用に加えて、超伝導検出器信号処理や超伝導量子ビット制御など多岐にわたる用途で注目されている。本セッションでは、上記の応用固有の難しさ、たとえば動作環境やシステム上の制約などを踏まえ、回路自身を含む設計からの視点を中心として、超伝導デジタル回路に関する現状と最新的话题を共有する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日(火) 13:45~16:45	【ソサイエティ特別企画】 エレクトロニクスソサイエティ・プレナリーセッション ~量子コンピュータのグローバル動向および産業創出の挑戦~  エレクトロニクスソサイエティ運営委員会	座長：渡邊 啓 講演者：川西 哲也、寺部 雅能、永田 真
<p>概要：量子コンピュータというテクノロジーがもたらす機会とビジネスへの挑戦を理解し、それに対応するための研究戦略を考える事は重要です。本プレナリーセッションでは、量子コンピュータのグローバル動向および産業創出の挑戦と題して、世界的な量子コンピュータの動向とそれを用いたビジネスの最新状況を知り、研究の方向性について考える機会を提供します。（講演会に先立ち、活動功労賞、学生奨励賞贈呈等を実施します。）</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月5日(火) 13:45~17:00	【大会委員会企画】 <b>ASPIRE Workshop</b>  国際委員会	座長：Yuichi Tanaka、Hideharu Amano 講演者：Antonio Ortega、Yuichi Tanaka、Shunsuke Fukami、Hideharu Amano
<p>概要：In the research and development of technology, while researching the technology itself, collaboration, or human networking, is extremely important. The IEICE covers a wide range of research in the field of IT, and at the same time, in cooperation with JST-ASPIRE, supports global activities by expanding this human network.</p> <p>This conference is an international workshop where researchers, including young researchers from all over the world, will share their research results with each other and report on the state-of-the-art technologies in telecommunication, network, and semiconductor, mainly by ASPIRE PIs.</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~10:30	【シンポジウムセッション】 <b>電磁波・光波の水に関わる無線技術への展開</b>  通信/水中無線技術特別研究専門委員会	座長：高山 佳久 講演者：松嶋 徹、福本 幸弘、江口 和弘、眞鍋 泰河、小村 明広、山下 泰輝、市橋 保之、涌波 光喜、大井 隆太郎、高山 佳久、樹田 行弘、出口 充康、志村 拓也、
<p>概要：水域における無線技術の課題解決を目指し、音響、電磁波、光に関する最新の研究成果と知見の共有を促進する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~12:15	【シンポジウムセッション】 <b>分野を超えて俯瞰する10年先の無線通信技術Ⅱ</b> <b>6G・次世代無線通信の展望と回路技術</b>  エレクトロニクス/集積回路研究専門委員会	座長：白根 篤史、徐 照男 講演者：調整中
<p>概要：本シンポジウムセッションは今後の社会要請を見据えて5Gの先で必要になるBeyond 5G次世代通信について特集する。マイクロ波研究会、スマート無線研究会と共通のテーマで連続してセッションを構成し、コンポーネント、ハードウェアからソフトウェア、システム、アプリケーションまで幅広くカバーし、6Gや次世代通信に関する全体の解像度を上げていく。集積回路研究会は其中で6Gを含む次世代Sub-THz、ミリ波通信などの次世代通信に関する概要および展望と、そこで必要になる集積回路設計、デバイス、システム技術に着目したセッションを提供する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~12:15	【シンポジウムセッション】 制御システムにおけるサイバーセキュリティ  基礎・境界/情報セキュリティ研究専門委員会	座長：倉地 亮、鈴木 大輔 講演者：松尾 俊彦、森岡 澄夫、調整中
概要：本セッションでは、自動車やOTシステムなど制御システムにおけるサイバーセキュリティの技術的な課題に加えて、規格動向についても広く議論する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~12:15	【シンポジウムセッション】 社会インフラをささえる情報通信エンジニアリングを目指して  理事会	座長：森川 博之、岡 宗一 講演者：五十嵐 大和、前田 大輔、小笠原 篤司、磯邊 直志、石田 信吾
概要：各情報通信会社は、お客さまに安心してご利用いただける品質の高い通信サービスを提供するため、膨大なインフラ設備に効率的かつ正確な点検を行うスマートメンテナンスに取り組んでいます。一方、地域社会の生産基盤となる社会インフラを取り巻く環境は、少子高齢化や社会インフラの老朽化、財政不足等の課題が多く、従来型の取り組みでは対応が困難な状況となっています。本企画セッションでは、総務省、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル、NTTより第一人者をお招きし、情報通信エンジニアリングの最新動向と、上記社会課題の解決に向けた今後の方向性について講演とパネルディスカッションを行います。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~12:15	【シンポジウムセッション】 日本の産学官による量子ICT研究開発の最前線  通信/コミュニケーションシステム研究専門委員会	座長：遠藤 寛之、兪 鈺 講演者：遠藤 護、古澤 明、秋山 浩一郎、香取 秀俊、根本 和哉、横山 輝明
概要：量子計算機、量子センシング、量子暗号といった、いわゆる量子ICTは我々の社会や生活に大きな影響を与える技術であると広く認識されるまでになった。日本では、大学や国研はもとより、その商業上の価値を見出した企業が、時には緊密な連携により、量子ICT技術の研究開発と普及を推し進めてきた。そこで、本セッションでは、産学官の取り組みという視点から量子ICT技術の最前線を紹介することを目的とした。さらに、量子計算機でも解読不可能な公開鍵暗号である耐量子計算機暗号や、量子ネイティブの発掘を目指す量子人材育成の取り組みも合わせて紹介することで、より幅広い分野の人々が量子ICT技術へ関わる気運を醸成することも期待する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:00~11:00	【ソサイエティ特別企画】 2024年HCGの旅  ヒューマンコミュニケーショングループ運営委員会	座長：和田 親宗 講演者：和田 親宗、飯塚 重善、番 浩志、川崎 真弘、新井田 統、塩野目 剛亮、酒向 慎司
概要：電子情報通信学会に所属する唯一のグループであるヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)は、人と人、人を取り巻く環境とのコミュニケーションに関して、工学のような理系分野のみならず文系分野の研究者とも連携し、横断的な研究活動をおこなっています。本セッションでは所属する第1種研究会(ヒューマンコミュニケーション基礎研究会、ヒューマン情報処理研究会、メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会、福祉情報工学研究会)の概要および最新研究を紹介し、他ソサイエティや学会員への情報提供の場といたく存じます。		



日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 9:45~11:30	【ソサイエティ特別企画】 <b>論文の書き方講座</b>  通信ソサイエティ編集会議	座長：木村 雄一 講演者：道下 尚文、木下 和彦、 張 裕淵
<p>概要：論文の最も基本となる目的は、読者に対し、論理的に積み上げていくことで、その論文の主張を導くことである。しかし、そのような論文を書くことは難しく、論文の書き方の上達にはある程度の時間と継続的な執筆指導の努力が必要である。通信ソサイエティでは、論文の書き方を広く深く会員に浸透させるために、2009年3月から大会に合わせて「論文の書き方講座」を開催してきた。参加者から継続的に開催することを希望する声を多く頂いたため、本大会でも「論文の書き方講座」を開催することにした。この講座が学生あるいは若手研究者の一助となれば幸いである。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~16:45	【パネルセッション】 <b>B5G/6G・IoTの次の時代に必要な学問は何か？</b>  通信/センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究専門委員会	座長：猿渡 俊介 講演者：川原 圭博、岡田 健一、 鈴木 智
<p>概要：IoT技術やXR（AR/VR/MR）技術によって物理空間と電脳空間の境界が曖昧になると同時に、新しい技術を研究開発するときに必要な学問領域も曖昧になりつつある。本企画セッションでは、B5G/6G・IoTに関係するユビキタスコンピューティング、無線通信半導体回路、ドローン技術という全く異なる分野の研究者の頭の中が、どのような学問領域（より具体的には大学の授業）によって構成されているのかを紐解くことを目的とする。最先端の研究者の現在の研究を紹介してもらいつつ、現在のカリキュラムと彼らの知識の対応関係、共通項、今の学問には欠けている知識分野を講演と議論を通して明らかにする。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~16:40	【シンポジウムセッション】 <b>分野を超えて俯瞰する10年先の無線通信技術Ⅲ</b> <b>水中・地上・宇宙をつなぐスマート通信</b>  通信/スマート無線専門委員会	座長：石津 健太郎 講演者：調整中
<p>概要：本企画セッションは、エレクトロニクスソサイエティ ICD 研と MW 研と共催で、次世代無線通信に関連した幅広い技術について紹介する連続したセッションの一部である。本セッションでは、水中・地上・宇宙をつなぐ通信技術に携わっている研究者に現在の研究動向についてご講演頂き、理解を深める。またその更なる将来への可能性について議論する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~16:30	【大会委員会企画】 <b>AIの進化とそのシステム運用・管理技術と課題</b>  通信/情報通信マネジメント研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
<p>概要：AIはますます我々の生活に深く組み込まれています。特にICTのシステム運用・管理について考えると、AIの進化はこれらの領域に対して顕著な影響を与えています。AI技術を活用した運用自動化は、人間の介入を最小限にし、システム運用の効率性と信頼性を向上させます。AIによる異常検知やパフォーマンス最適化は、予防的なメンテナンスを可能にし、ダウンタイムを減少させ、システムのパフォーマンスを最大化します。セキュリティにおいても、AIは新たな可能性を引き出します。AIと機械学習のアルゴリズムは、パターンを認識し、異常な行動を検出する能力を持っています。これにより、早期にセキュリティ侵害を検出し、それに対処することが可能となります。</p> <p>しかし、AIの進化とそれに伴う運用・管理の変化は、新たな課題ももたらしています。AIアルゴリズムの透明性と説明可能性は重要な問題で、AIが出した結果を理解し、信頼できる必要があります。さらに、AIが生成する大量のデータは、データ管理とプライバシーの問題を引き起こします。</p> <p>本企画では、AIの進化がシステム運用と管理に与える影響に焦点を当て、その可能性と挑戦を探ります。AIと共に進化するシステム運用と管理の世界についての深い議論を通じて、現在と未来の運用・管理戦略を理解し、それらを最適に活用する方法を模索します。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 <b>データセンタの進化とそれを支えるフォトニクス技術</b>  通信/フォトニックネットワーク研究専門委員会	座長：松本 怜典、森 洋二郎 講演者：佐藤 健一、森脇 摂、植之原 裕之、平本 清久、木村 康則
<p>概要：データセンタは今や重要な社会インフラの一部となっている。本セッションでは、データセンタ内ネットワーク・データセンタ間ネットワーク、コンピューティングの進展動向や、それらを支えるフォトニクス技術の最新動向をご講演いただく。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 <b>ニューロモルフィック・リザーバーコンピューティングの現状と未来</b>  NOLTA/複雑コミュニケーションサイエンス研究専門委員会	座長：内田 淳史、菅野 円隆 講演者：堀尾 喜彦、田中 剛平、中嶋 浩平、香取 勇一、田中 啓文、鈴木 秀幸、中島 光雅
<p>概要：AIや機械学習の次世代技術として、人間の脳の構造を模倣したニューロモルフィックコンピューティングの研究が、非常に注目されている。さらにその概念を様々な物理デバイスに適用したリザーバーコンピューティングの研究報告も、近年急速に増加している。本セッションでは、ニューロモルフィックコンピューティングやリザーバーコンピューティングの現在の研究動向と、新たな機械学習手法としての将来技術の可能性について、国内の第一線で活躍する研究者の方々にご講演頂く予定である。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 インフォマティクス技術の半導体デバイス・プロセス応用  エレクトロニクス/電子デバイス研究専門委員会	座長：杉田 憲一、新井 学 講演者：沓掛 健太郎、高石 将輝、土田 秀一、山本 佳嗣、守屋 剛、雁木 比呂
<p>概要：本シンポジウムでは、近年産業界で導入が進んでいる機械学習や最適化アルゴリズムに代表される情報科学（インフォマティクス）技術が半導体デバイス開発および製造へどのように適用できるかについて情報提供の場としたく存じます。大学や産業界の最前線の方々に、半導体材料・デバイス開発におけるマテリアルズ・インフォマティクス（MI）やプロセス・インフォマティクス（PI）の適用事例、研究開発の最前線や将来展望などについてご紹介していただき議論します。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月6日(水) 13:45~15:15	【チュートリアルセッション】 情報指向ネットワーク技術の展開へ向けて  通信/情報指向ネットワーク技術特別研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
<p>概要：情報の名前に基づいて通信する「情報指向ネットワーク技術 Information Centric Networking：ICN）」が世界的に議論され、近年では、基礎的な方式に対する一定の解が得られつつあります。また、5G、AI、Web3などの他技術との連携による応用の議論も活発化しています。本企画セッションでは、ICNに関連する研究成果、応用事例、国内外の動向などを通し、ICNの理解の深化、ならびに将来の展開へ向けた課題を議論します。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 9:00~12:15	【シンポジウムセッション】 創発的問題解決の理解と支援：脳科学・心理学・情報科学の融合研究に向けて  通信/コミュニケーションクオリティ研究専門委員会	座長：小川 剛史、津川 翔、山岡 明奈 講演者：森重 健一、大須 理英子、大黒 達也、清河 幸子
<p>概要：私たちは、日常的に様々な課題などに対し、個人あるいは他者とのインタラクションを通じて解決しようとしている。最近では、芸術的活動や創発的な問題解決など創造性の理解に関わる研究が行われている。人が問題を解決するための要因や、それを促進するためのメカニズムを理解することができれば、精神的に豊かな状態を実現するのに貢献すると期待される。創発的問題解決を理解する上で、人の個性や環境、他者との相互作用など様々な要因が考えられるが、これらを理解するためには、脳科学的アプローチや、社会的相互作用を分析するための心理学的・行動学的アプローチなど様々な分野の知見を融合することが不可欠である。本セッションでは、様々な学問分野で活躍する研究者を招き、創発的問題解決や社会的相互作用、およびこれら进行分析のための基盤技術、問題解決を支援する情報通信システム等の研究の最前線を紹介していただく依頼シンポジウムを開催する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 9:25~12:15	【チュートリアルセッション】 <b>未来社会をつくる次世代無線通信システム標準化技術</b>  通信/無線通信システム研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
<p>概要：あらゆる産業・社会活動の基盤となりつつある無線通信システムは、多くの社会課題を解決し、よりよい未来社会をつくるための Society 5.0 の実現に欠かせない技術となっている。日々の研究・開発により生み出された優れた技術が社会実装され、新たなビジネス創出・社会課題解決へとつながっていくためには、標準化による技術の普及が不可欠である。本チュートリアルセッションでは、3GPP・IEEE・O-RAN Alliance で標準化が進められている各種の次世代無線通信システム技術について、その分野の第一線で活躍をされている講師をお招きし、要素技術と将来展望について、わかりやすく解説いただく。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 9:00~11:25	【シンポジウムセッション】 <b>機械学習を用いた光計測・光通信技術の現状と将来動向</b>  通信/光ファイバ応用技術研究会	座長：上原 知幸、北村 心 講演者：五十嵐 浩司、谷村 崇仁、叢 光偉、水野 洋輔、Yuguo Yao、Yuangang Lu、李 ひよん、中村 健太郎、成瀬 央
<p>概要：光を用いた計測技術は、ファイバグレーティングや光散乱を用いた光ファイバの歪み測定や光干渉計を用いた精密計測等により建築、医療、基礎物理、天文、通信などの多くの分野で研究が日々進んでいる。また、光通信の分野も大容量化技術等の進歩が目覚ましい。本シンポジウムでは、これらの技術に機械学習などを組み合わせることで計測や通信の性能を向上させる先端的な取り組みについての提案がなされる。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 9:00~12:00	【パネルセッション】 <b>見過ごされてきた“女性の健康問題”を知る —誰もが安心できる社会を目指して—</b>  情報・システム/ME とバイオサイバネティクス研究専門委員会	座長：吉田 久、金子 美樹 講演者：青木 真希子、緒形 ひとみ、金子 美樹
<p>概要：日本は2013年から成長戦略の柱の1つとして「すべての女性が輝く社会」の実現を目指してきました。現在、自身の個性や能力を発揮したいと望む女性の支援や取り組みを通じて、男女の雇用格差、家庭と仕事の両立などの課題が認識されつつあります。その一方で、月経、妊娠・出産、更年期障害といった女性ならではの健康問題については、社会的な認識が低く、未だ考慮されていない現状があります。女性自身、これらの問題は自ら解決するものという考えが根強く、解決策が見つからないまま悩み続ける女性が少なくありません。実際に、経産省の調査では、女性労働者の約半数が、女性特有の健康問題により職場で困った経験があると回答しており、離職や昇進辞退の原因の1つとなっています。本企画セッションは、このような女性の健康問題解決に向けた研究に従事し、ご活躍されている様々な分野の先生方を数名お招きし、男性だけでなく、女性自身も知る機会が少なかった女性の健康問題についてご講演頂く予定です。本セッションを通じて、少しでも多くの方に女性の健康問題を知ってもらえればと思っております。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~16:55	【チュートリアルセッション】 情報理論的暗号技術とその周辺の最新動向  基礎・境界/情報理論研究専門委員会と情報理論とその応用サブソサイエティ(共催)	座長：渡邊 洋平 講演者：吉田 真紀、樋渡 啓太郎、江利口 礼央、岩本 貢
<p>概要：暗号技術は計算量的暗号技術と情報理論的暗号技術に大別できる。計算量的暗号技術は実社会でも広く利用されているが、安全性の根拠として仮定している計算問題の困難性が崩れれば、その暗号技術の安全性も崩れてしまう。特に、量子計算機の実現に伴い、現在利用されている計算量的暗号技術の大半はその安全性が崩れることから、耐量子計算機暗号の研究及び実用化が推し進められている。一方、情報理論的暗号技術は計算量仮定を一切必要としないため、耐量子計算機性はもちろん、どのような計算機の発展にも影響されない「無条件の」安全性を提供できる。本企画では、情報理論的暗号研究に携わる研究者の方々より、最新の成果をご講演いただく。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~17:00	【パネルセッション】 いよいよ始まる6Gの標準化～各国の最近の取り組み・周波数状況・技術動向～  通信/無線通信システム研究専門委員会	座長：牟田 修、石井 直人、須山 聡 講演者：調整中
<p>概要：Beyond 5G/6Gの実現に向けた国際標準化が具体化してきた。2023年11月に開催されるWRC23では、6Gの周波数選定に向けた展望も議論された。6Gに向けては、新バンドの開拓、移動通信以外のシステムとの周波数共用、オペレータ間の周波数共用や基地局シェアリングなど、周波数に関わる様々な議論がWRC23を受けて活発化すると考えられる。2020年前後から始まった各国の研究プロジェクトでも一定の成果も出始めており、6Gで導入すべき技術が見えてきた。本パネルセッションでは、最新の周波数動向について有識者に解説頂くとともに、6Gの研究開発をけん引する企業、研究機関、大学の有識者から、6Gのユースケース、ネットワークアーキテクチャ、無線技術といった幅広い観点に加えて、国内や海外の主要プロジェクトの取り組みをご紹介いただき、6Gへの取り組み方や産学連携について議論する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~17:00	【ソサイエティ特別企画】 量子コンピューティングとシステム数理学のフロンティア  基礎・境界/システム数理と応用研究専門委員会	座長：中村 祐一 講演者：河原林 健一、泓 宏優、名嘉村 盛和、田中 宗
<p>概要：このシンポジウムでは、量子コンピューティングとシステム数理学の最先端の研究と応用に焦点を当てます。両分野の専門家や研究者が一堂に会し、量子コンピューティングの基礎原理や最新の進展、システム数理学の応用分野での挑戦について議論します。さらに、両分野の相乗効果に注目し、イノベーションを生み出すための新たなアプローチや可能性についても検討します。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 <b>衛星を利用した通信ネットワークとセンシング技術の最新動向</b>  通信/衛星通信研究専門委員会と宇宙・航行エレクトロニクス研究専門委員会(共催)	座長：亀井 雅、北村 堯之 講演者：井上 雅広、坂元 一光、谷 重紀、大木 真人、夏秋 嶺、山田 寛喜
概要：静止軌道や中軌道、低軌道など衛星の多様化が進み、その効果的な利用に向けた研究開発が活発に進められている。本企画セッションでは、新しい衛星の利用に向けた通信ネットワーク技術やセンシング技術に関する最新動向を議論する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 <b>持続可能で強靱な社会に必要とされる EMC 技術</b>  通信/環境電磁工学研究専門委員会	座長：渡辺 聡一 講演者：永田 真、森岡 健浩、多氣 昌生、清水 悠斗、他調整中
概要：2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)やサイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心社会であるSociety5.0の実現に向けて世界的な取り組みが進められている。これらの目標が実現するスマートシティにおいては、IoTや5Gなどの新しい無線通信技術や高効率エネルギーシステムを搭載した自動運転車やドローン等が基盤システムとして円滑に利用される環境を実現する必要がある。EMCはそのための重要な技術課題となる。本企画セッションでは、これからの持続可能で強靱な社会に必要とされるEMC課題に関する研究テーマを題材とし、多様なシステムのEMC(エミッションやイミュニティ)に関する技術課題や電磁界の人体防護に関する研究課題等を含め、幅広い領域からのEMCに関する知見と技術を共有することを目的とする。同名の和文B特集号(2023年8月号)より依頼した講演者にご登壇いただく。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~17:00	【調整中】 <b>アクセシビリティの標準化動向</b>  規格調査会とICT分野における国際標準化と技術イノベーション特別研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
概要：誰でも、どのような環境下においても、多種多様な情報・サービス・商品などを利用できるようにするアクセシビリティの重要性は増してきている。本セッションではアクセシビリティの専門家からご講演いただき、関連する標準化の動向や各企業における取組みについて、具体的事例の共有とともに議論を深める。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月7日(木) 13:45~16:50	【シンポジウムセッション】 光応用電磁界計測の現在、そしてこれから  通信/光応用電磁界計測特別研究専門委員会	座長：日景 隆、土屋 明久 講演者：大西 輝夫、陳 強、黒川 悟、水野 麻弥、佐々木 愛一郎、村田 博司
概要：光応用電磁界計測特別研究専門委員会（PEM 特別研専）の発足から12年の歳月が経過し、その間に様々な技術の革新と淘汰、トレンドの変遷があった。PEM 特別研専にとって節目となる本大会では、光応用電磁界計測をリードしてきた各方面の第一人者を迎え、電磁界計測のこれまでの進展を振り返ると共に現在の到達点と課題を認識し、今後の電磁界計測技術研究の方向性を考える機会とする。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 9:30~10:30	【シンポジウムセッション】 医療、農業分野への光デバイスの展開とデバイスへのニーズ  エレクトロニクス/レーザ量子エレクトロニクス研究専門委員会	座長：荒井 昌和 講演者：三林 浩二、尾崎 信彦、和田 智之
概要：光半導体デバイスを用いたセンシング技術がどのように応用されているか、また波長、線幅やパワーなどが要求されているかを様々な事例、要素技術から考える。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 9:00~12:15	【大会委員会企画】 企業イニシアティブ活動 x 6G  企業イニシアティブ委員会	座長：須山 聡、寺田 純 講演者：調整中
概要：企業イニシアティブ委員会の各分科会のテーマは、企業にとって重要なテーマであるが、特に、これから研究開発が加速する Beyond5G/6G にとっても重要なテーマである。そこで、主に RCS 研専が取り組んでいる Beyond5G/6G をテーマに、企業イニシアティブ活動を通じて、どのような解決ができるかを議論する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 9:00~12:00	【シンポジウムセッション】 有無線ネットワークとコンピューティングの融合  通信/ネットワークシステム研究専門委員会	座長：沢辺 亜南、篠原 悠介 講演者：調整中
概要：ネットワーク機能の仮想化技術の進展に伴って、有線・無線・モバイルネットワークとコンピューティングの融合が加速している。このようなネットワークとコンピューティングの融合では、例えば、ネットワークの障害検知、及び、通信リソースの適正配分などの専門性の高いネットワーク運用を高効率に自動化することが期待されている。本企画セッションでは、ネットワークとコンピューティングの融合に関する研究活動、及び、社会実装の幅広い講演を通して、今後の方向性を探索する。		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 9:00~12:15	<b>【調整中】</b> <b>路車間通信・車車間通信 (V2X)</b>  基礎・境界/ITS 研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
<p>概要：路車間通信・車車間通信 (V2X) は、これまで主に自動車を対象としてきたが、路面電車へも展開が進んでいる。路面電車・バス・一般車両における V2X を利用した車車間・歩車間の安全支援、信号連携技術のほか、鉄道における測位・計測技術の動向、地方都市における公共交通機関とまちづくりなどについて議論する。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 13:45~17:00	<b>【大会委員会企画】</b> <b>パターン認識・メディア理解 (PRMU) 技術の産業応用</b>  情報・システム/パターン認識・メディア理解研究専門委員会	座長：小西 嘉典、山口 光太、安倍 満、徐 建鋒 講演者：関川 雄介、堀内 俊治、小西 嘉典、山口 光太
<p>概要：かつてのパターン認識は、顔認識や文字認識といった特定の分野に応用範囲が限られていました。しかしながら、飛躍的な発展を遂げた機械学習の恩恵により、パターン認識・メディア理解 (PRMU) 技術の応用先分野は、かつてよりも格段に広がりつつあります。そこで本セッションでは、「PRMU 技術の産業応用」をテーマとし、PRMU 技術の新しい応用の在り様について、広く俯瞰するセッションを企画いたしました。本セッションでは、PRMU 分野の第一線で活躍している 4 名の技術者・研究者を招き、自動運転/高度運転支援、メタバース、グラフィックデザインといった多岐にわたる応用例についてご紹介頂きます。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 13:45~15:45	<b>【シンポジウムセッション】</b> <b>マイクロ波研究会学生研究発表表彰式および受賞者による特別講演</b>  エレクトロニクス/マイクロ波研究専門委員会	座長：宮田 尚起、本良 瑞樹 講演者：調整中
<p>概要：マイクロ波研究専門委員会 (MW 研究会) では 2003 年度から継続して、将来の情報通信分野を担う学生の奨励を目的に、MW 研究会で優秀な発表を行った学生に対して学生研究優秀発表賞の表彰を行っています。本学生研究発表表彰式では、2023 年度の MW 研究会における学生発表の中から特に優れた研究発表を行った学生に対し、学生研究優秀発表賞または学生研究発表奨励賞を授与するとともに、マイクロ波の未来を切り拓くことが期待される受賞学生による特別講演を行います。</p> <p>13:45-13:50 開会の挨拶 13:50-14:05 学生発表表彰式 14:05-14:10 休憩 14:10-15:40 受賞学生による特別講演 15:40-15:45 閉会の挨拶</p>		



日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 13:45~17:00	【シンポジウムセッション】 <b>AIハードウェア・アーキテクチャの最前線 ~光応用に向けて~</b>  エレクトロニクス/光エレクトロニクス研究専門委員会	座長：調整中 講演者：調整中
<p>概要：ChatGPT や Stable Diffusion といった生成 AI の進化は著しく、新たな段階に入ったと考えられます。今後 AI はあらゆる分野に浸透していき、各アプリケーションにおいてハードウェア設計までを含めた最適機構が探索されていくものと予想されます。本シンポジウムでは、電子および光駆動による新しい AI ハードウェアをあり方を追求するとともに、先駆的アーキテクチャについて議論します。</p>		

日時	セッション名	座長・講演予定者
2024年3月8日(金) 13:45~16:25	【調整中】 <b>ESG の未来に向けたエネルギー変換技術</b>  通信/電子通信エネルギー技術研究専門委員会	座長：高見 弘、田中 憲光 講演者：中村 良道、河口 進一、高見 弘、井上 健司、大堀 彰大
<p>概要：近年、気候変動や生物多様性などの地球環境問題、貧困、人権などの社会問題への関心の高まりを受け、ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治) の観点で、解決に向けた取り組みが世界的に進められている。ESG は 2006 年に国連が責任投資原則 (PRI) を提唱したことにより広がった言葉だが、今や様々な分野にて認識されている。</p> <p>エネルギー変換技術は、特に E、S、の 2 つの観点に貢献する重要な科学技術であり、これまでの産業の分野にとどまらない幅広い貢献が期待される。本セッションでは、ESG の未来に向けて、エネルギー変換をキーに多様な分野で取り組まれている方からご報告をいただき、幅広い視点からの活発な議論の場を提供したい。</p>		

## IEICE Transactions Online 多言語翻訳トライアル 機械翻訳品質評価のためのアンケートへのご協力をお願い

電子情報通信学会では、「IEICE Transactions Online」において、多言語（16 言語※）翻訳トライアルを 2024 年 4 月から開始致します。対象誌は IEICE Transactions 4 誌と ELEX で、その書誌情報、アブストラクト、全文フルテキストとなります。この度、機械翻訳結果の品質に関するアンケートに参加していただける方を募集致します。16 言語※あるため、多くの国の方のご登録をお待ちしております。ご興味がある方は、是非、以下の Forms からご登録下さい。登録していただいた方には 4 月以降に、回答用 URL をご案内致します。

登録先 URL： <https://forms.office.com/r/gfJRMmds95> （申込期限 2024 年 3 末日）

16 言語：日本語、英語、簡体字、繁体字、韓国語、仏語、スペイン語、ポルトガル語、独語、伊語、露語、タイ語、インドネシア語、マレー語、ベトナム語、ウクライナ語

### 3. ポスターセッション一覧

※10月20日時点の情報です。日時、会場は変更になる場合があります。

ポスターセッションは、現地会場でのみの開催となります。ポスター発表者は、現地参加が必須となります。

【セッション名】 モーションセンサを用いたスノーボードの姿勢が技に与える影響について

【主催】 情報・システムソサイエティ

【日時】 2024年3月5日（火）13:45～17:00

【会場】 学士会館2階 ホワイエ

【セッション名】 ウェルカムパーティ学生ポスターセッション

【主催】 大会委員会

【日時】 2024年3月5日（火）18:00～20:00

【会場】 広島大学生協西2 食堂

【お知らせ】 ウェルカムパーティ学生ポスターセッションへの参加者は、懇親会費 500 円が無料となります。

【セッション名】 ネットワーク技術特別ポスターセッション

【主催】 ネットワークシステム研究専門委員会

【併催】 情報ネットワーク研究会/ネットワークソフトウェア研究会併催

【日時】 2024年3月6日（水）9:00～12:15

【会場】 学士会館2階 ホワイエ

【セッション名】 インターネットアーキテクチャ若手ポスターセッション

【主催】 インターネットアーキテクチャ研究専門委員会

【日時】 2024年3月6日（水）13:45～17:00

【会場】 学士会館2階 ホワイエ

【セッション名】 情報システムソサイエティ特別企画 ジュニア&学生ポスターセッション

【主催】 情報システムソサイエティ

【日時】 2024年3月7日（木）一般発表

3月8日（金）選奨発表、授賞式

【会場】 学士会館2階 ホワイエ



## 4. 特別イベント インターナショナルレセプション

～大会参加者の皆さまに有意義な交流を提供するために、初日にインターナショナルレセプションを開催いたします～

【開催日時】2024年3月4日（月）18:30～20:30

【会場】リーガロイヤルホテル広島 32階 ダイヤモンドルーム

【参加費】一般：5,000円 学生：2,000円

【定員】100名

【申込方法】参加には事前申し込みが必要です。総合大会オフィシャルホームページからお申込み下さい。当日会場での現金支払いでの受付は致しません。なお、定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

## 5. IEICE EXPO 2024 広島（企業展示）

【日時】2024年3月5日（火）～3月8日（金）

【会場】広島大学学士会館2階

【内容】出展企業による製品・サービス紹介、人材採用、研究発表

## 6. 維持員交流会

【日時】2024年3月5日（火）16:30～17:30

【内容】学会サービス紹介、名刺交換会等

## 7. 懇親会（Welcome Party）

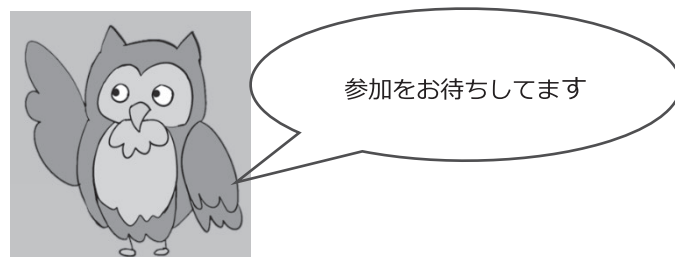
【日時】2024年3月5日（火）18:00～20:00

【会場】広島大学 西2食堂

【参加費】一般：3,000円 学生：500円

【定員】200名

【申込方法】参加には事前申し込みが必要です。総合大会オフィシャルホームページからお申込み下さい。当日会場での現金支払いでの受付は致しません。なお、定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。



## 8. ランチョンセミナー

2024年3月5日（火）～8日（金）の各日のお昼に、広島大学学士会館1階レストラン La Bohèmeにて、主催企業による60分間のランチョンセミナーが開催されます。セミナーの内容は、製品、サービス紹介や、リクルーティング等、主催者によって異なります。参加には、事前のお申し込みが必要です。詳細は、大会のオフィシャルホームページをご覧ください。

開催日	時間	会場	定員	主催企業
3月5日(火)	12:30~13:30	La Bohème	60名	ローム(株)
3月6日(水)	12:30~13:30	La Bohème	60名	マイクロンメモリジャパン(株)
3月7日(木)	12:30~13:30	La Bohème	60名	未定
3月8日(金)	12:30~13:30	La Bohème	60名	未定

※当日は、開始5分前までには会場前の受付にお越し下さい。また、当日のキャンセルはご遠慮下さい。

## 9. スポンサーセッション

2024年3月6日(水) 14:00から広島大学ミライクリエにて、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)によるスポンサーセッション「ASPIRE 2023年度採択課題 キックオフミーティングおよびネットワーキング(仮)」が開催されます。

## 10. オプションツアー：学内ツアー「発見の小径」 自然散策道と酒蔵のまちてくてくガイド

広島大学キャンパス内「自然散策道『発見の小径』」の散策と、酒都西条の風光明媚な町並みを巡る「酒蔵のまちてくてくガイド」の2つのツアーをご用意いたしました。異なる魅力を持つ2つのツアーは学会参加を一層楽しいものにする絶好の機会です。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

### 学内ツアー 自然散策道「発見の小径」

【日 程】3月5日(月)から3月8日(木)の4日間毎日

【時 間】11:00~12:00

【集合場所】学士会館2階 インフォメーションデスク前 10:50集合

【参加費】無料

【定 員】20名

【内 容】昔ながらの自然環境が多く残されている東広島キャンパスの自然散策道『発見の小径』をスタッフが案内します。キャンパス内には絶滅危惧種を含む多様な生物が生息し、先史時代以降の約30カ所にのぼる遺跡が見つかっています。四季折々の風景や生態系、遺跡など、キャンパスの自然と歴史を感じながら散策しましょう。

## 酒蔵のまちてくてくガイド

【日 程】3月5日（月）から3月8日（木）の4日間毎日

【時 間】14:00～15:30

【集合場所】JR西条駅前（予定）



【参加費】無料

【定 員】20名

【内 容】多くの醸造元が密集して軒を連ねる全国的にも珍しい町並みである東広島市西条地区の酒蔵通りを散策します。西条独特の赤レンガの煙突や、白い漆喰と黒いなまこ壁とのコントラストが美しい土蔵造りの酒蔵などを見学、酒造りのプロセスや地域の酒文化について地元ガイドが解説します。当日開放している蔵元を訪れる予定。ぜひ日本酒の魅力に触れましょう。

---

### 【申込方法】

いずれのツアーも参加には事前申し込みが必要です。大会オフィシャルホームページからお申し込み下さい。定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。なお、当日のキャンセルはご遠慮下さい。

ご質問やお問い合わせがございましたら、学会事務局 (taikai-office@ml.ieice.org) までお気軽にご連絡ください。

### 〈参考〉

広島大学⇒西条駅 バス時刻表（2023年8月現在）

12:00 広大中央口発	12:21 西条駅着（JRバス）
12:15 広大中央口発	12:36 西条駅着（芸陽バス）
12:30 広大中央口発	12:51 西条駅着（JRバス）
12:45 広大中央口発	13:06 西条駅着（JRバス）
13:00 広大中央口発	13:21 西条駅着（芸陽バス）
13:15 広大中央口発	13:36 西条駅着（芸陽バス）
13:30 広大中央口発	13:51 西条駅着（JRバス）

最新情報は、ホームページをご確認下さい。[https://bus-routes.net/gtfs\\_stop.php?stid=287946](https://bus-routes.net/gtfs_stop.php?stid=287946)



## 2. 聴講参加申込方法

総合大会オフィシャルホームページから聴講参加申し込みをお願いします。大会会場での参加は受け付けませんので、必ず、事前にお申込み手続きをお願い致します。

なお、企画セッションについては、ZOOMによるオンライン配信がありますが、一般セッションのZOOMによるオンライン配信はございません。また、オンライン配信の聴講を希望の場合は、聴講参加のお申し込みが必要です。

総合大会オフィシャルホームページ

[https://www.ieice.org/jpn\\_r/activities/taikai/general/2024/index.html](https://www.ieice.org/jpn_r/activities/taikai/general/2024/index.html)



### 申込期間

#### 第一次申込期間（早割）〈2023年11月1日（水）～2024年2月16日（金）〉

「クレジットカード」、「銀行振込（バーチャル口座）」をお選び頂きます。2024年2月29日（金）までに学会事務局にて入金確認できない場合は、自動的にお申込みが取消しとなりますので、ご注意ください。

- ・銀行振込手数料は申込者様負担となります。
- ・銀行振込は請求書記載の口座にお振込みください。当会の三菱UFJ銀行の大会講演口や大会口へのお振込みをなさらないようお願い致します。

#### 第二次申込期間〈2024年2月26日（月）～2024年3月8日（金）〉

「クレジットカード」のみの支払いとさせていただきます。

#### 【請求書について】

Confitマイページにログインし、ページ右下にある「請求書ダウンロード」から取得して下さい。

### 今後の大会案内

本スケジュールは現時点での予定であり、変更となる場合があります。

2024年ソサイエティ大会

【会期】2024年9月10日（火）～13日（金）

【会場】日本工業大学（埼玉県）

2025年総合大会

【会期】2025年3月25日（火）～28日（金）

【会場】東京都市大学（世田谷区）

## 聴講参加費

申込者	種別		聴講参加費		聴講参加費に含まれているもの		
			第一次聴講申込み (早割) 2023/11/1～ 2024/02/16	第二次聴講申込み (後期) 2024/02/26～ 2024/03/08	発表費	聴講費	論文ダウンロード権
聴講者	会員	正員	11,000	16,500	×	○	○
		学生員	2,000	3,000	×	○	○
		学生員*2	0	0	×	○	×
		ジュニア会員	0	0	×	○	×
		60歳以上	3,400	5,100	×	○	○
		座長	11,000	11,000	×	○	○
	提携会員*1	一般	12,100	18,150	×	○	○
		学生	2,200	3,300	×	○	○
		座長	11,000	11,000	×	○	○
	非会員	一般	24,200	36,300	×	○	○
		学生	24,200	36,300	×	○	○
		座長	11,000	11,000	×	○	○

本会会員は不課税、非会員（締結学会の会員含む）は課税（10%）となります。

\*1 会員とは本会会員および電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会、及び本会与協定を締結した海外の学会（IEIE、KICS、KIISE、IEEE/CS、IEEE/Com.、Soc.、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S）の各学会の個人会員に限ります。本記載以外の学協会会員あるいは、学協会に所属されていない方、及び、聴講者の所属機関が本会の維持員であっても、非会員の取り扱いになります。この機会に、電子情報通信学会への入会を希望される場合は、本会ホームページから入会申請の手続きをお願い致します。

\*2 学生員（論文ダウンロード権なし）も聴講参加申し込みが必要です。

## 支払い期日について

聴講参加費は、お申し込み後、速やかにお支払い手続きをお願い致します。第一次申し込み期間の聴講参加費のお支払い期日は、2月29日（木）（厳守）となります。第二次申し込み期間の聴講参加費は、クレジットカードによるお支払いのみとさせていただきます。入金確認ができませんと、参加票のダウンロードができません。お支払いにつきましては、余裕をもって、ご対応下さいますようお願い致します。

なお、参加申し込み後に参加できなくなった場合でも、お支払い後のキャンセルは一切受け付けておりませんので、ご了承ください。



### 3. 大会情報アラカルト

#### 1. 大会本部 大会本部連絡先 090-4001-0001（大会期間中のみ）

工学部 102 講義室

#### 2. 携帯品預かり所/HINET Wi-Fi 利用申請

学士会館 2 階 205 会議室

#### 3. Wifi サービス

「eduroam による接続」を推奨致します。事前に eduroam のアカウントの取得をお願い致します。

##### eduroam による接続

eduroam のアカウントをお持ちであれば、大会会場での手続きなしで無線 LAN に接続可能です。eduroam のアカウント取得に関しては、所属機関の担当者にお問い合わせください。念のため、事前に所属機関にて eduroam に接続できることを確認してください。所属機関が学術認証フェデレーション「学認（GakuNin）」に参加している場合、一時的に eduroam を使用したい場合は「eduroamJP 認証連携 ID サービス」を利用することができます。eduroam に関しては、<https://www.eduroam.jp/>をご確認ください。

##### HINET Wi-Fi による接続

広島大学無線ネットワーク（HINET Wi-Fi）による無線 LAN への接続が可能です。利用を希望される方には携帯品預かり所（学士会館 2 階 205 会議室）にて HINET Wi-Fi のゲスト ID とパスワードを発行いたします。参加票をご提示ください。

#### 4. 飲食について

講演会場内の飲食は禁止となっております。食堂をご利用下さい。

##### 食堂・売店

		3月5日	3月6日	3月7日	3月8日
食堂	西2 カフェテリア（西2 食堂） 【西2 福利会館】	11:00~19:00	11:00~19:00	11:00~19:00	11:00~19:00
	東食堂（東福利会館）	11:00~13:00	11:00~13:00	11:00~13:00	11:00~13:00
	北1 カフェテリア（北1 食堂） 【北1 福利会館】	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~19:00	8:00~19:00
購買	西2 コープショップ 【西2 福利会館】	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00	9:00~17:00
	北1 コープショップ 【北1 福利会館】	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00
	会館コープショップ 【大学会館】	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00	10:00~17:00

#### 5. コピー

西2 コープショップ、北1 コープショップのコピー機をご利用下さい。

## 6. 駐車場

車でのご来場は、ご遠慮ください。公共交通機関のご利用をお願い致します。

## 7. 喫煙について

キャンパス内は指定場所以外は禁煙です。

## 8. 学術奨励賞推薦

2024年総合大会の講演者を対象として学術奨励賞・受賞候補者の募集を行います。推薦は、総合大会オフィシャルホームページからお願い致します。

## 9. 託児所

託児所を設置致します。託児所の利用をご希望の方は、総合大会オフィシャルホームページからお申込み下さい。

# \*\*\*\*\* 委員会 \*\*\*\*\*

## 大会委員会

委員長 眞田 幸俊（慶應義塾大学）

副委員長 田口 亮（東京都市大学）

幹事 太田 賢（宮城大学）、吉敷 由起子（株式会社構造計画研究所）

委員 平 明德（三菱電機株式会社）、大東 俊博（東海大学）、高野 知佐（広島市立大学）、太田 真衣（福岡大学）、下西 英之（大阪大学）、岩田 達哉（富山県立大学）、河合 正（兵庫県立大学）、新田 直子（武庫川女子大学）、塩田 さやか（東京都立大学）、赤坂 文弥（産業技術総合研究所）、山里 敬也（名古屋大学）、岡田 啓（名古屋大学）岡村 寛之（広島大学）、藤島 実（広島大学）、吉田 毅（広島大学）、平栗 健史（日本工業大学）、松浦 隆文（日本工業大学）、大田 健紘（日本工業大学）

## プログラム委員会

委員長 岡村 寛之（広島大学）

委員 眞田 幸俊（慶應義塾大学）

委員 太田 賢（宮城大学）、大東 俊博（東海大学）、高野 知佐（広島市立大学）、太田 真衣（福岡大学）、岩田 達哉（富山県立大学）、新田 直子（武庫川女子大学）、赤坂 文弥（産業技術総合研究所）、伊藤 靖朗（広島大学）、北須賀 輝明（広島大学）、吉田 毅（広島大学）

## 開催校実行委員会（広島大学）

委員長 藤島 実

委員 金田 和文、小出 哲士、中本 昌由、中西 透、亀田 卓、佐々木 豊、富永 依里子、亀井 清華、林田 智弘、吉田 毅

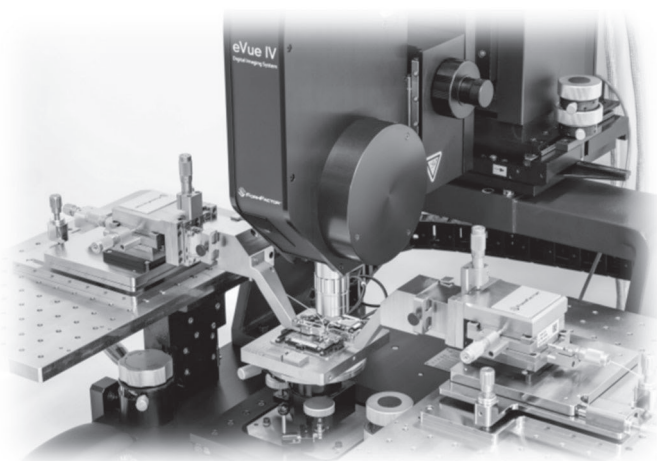
# フォームファクター株式会社 Form Factor K.K.



## New Release!

### 【Cascade MPS150-SiPh シリコンフォトニクス測定向けマニュアルプローブステーション】

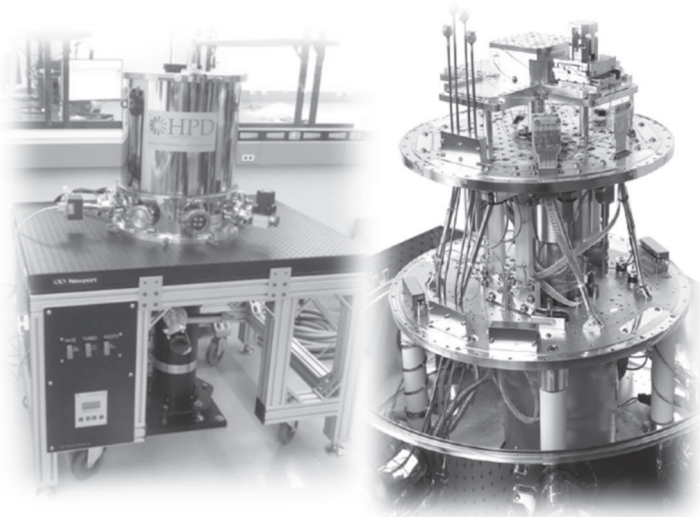
フォームファクターは、新たなアプリケーションの基礎研究をサポートする、コスト効率の高いシリコンフォトニクス測定ソリューションを発売いたしました。このシステムには、自動フォトニクス測定システムを開発してきたフォームファクターの長年の経験が組み込まれています。光ファイバーの正確な位置決めにおいて、物理的接触なしにデバイスの光を結合できることを保証します。また500GHzまでのO-E測定にも対応します。



### 【HPD Kilimanjaro 125 チップ測定向けセミオート 4K プロブステーション】

フォームファクターは、新たなアプリケーションの基礎研究をサポートする、極低温（True 4K）測定ソリューションを発売いたしました。このシステムは、真の4K温度での測定を必要とする研究者のために設計されました。

高い冷却能力、ベース温度の低さ、低振動設計は超電導デバイスや超電導材料のテストに最適な環境を提供します。



#### 連絡先

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 横浜ビジネスパーク・イーストタワー11F

TEL: (045)338-1286

FAX: (045)338-3958

Mail: [FFJP\\_Sales@formfactor.com](mailto:FFJP_Sales@formfactor.com)

Web: <https://www.formfactor.com/products/probe-systems/>

担当: 営業部

# Anritsu

## Advancing beyond

アンリツは、1895年の創業以来、常に最先端技術を追い求めてまいりました。  
「はかる」技術をコアコンピタンスとして、  
幅広い分野で、安全・安心で快適な社会づくりを支えています。

### 私たちの仕事の一例

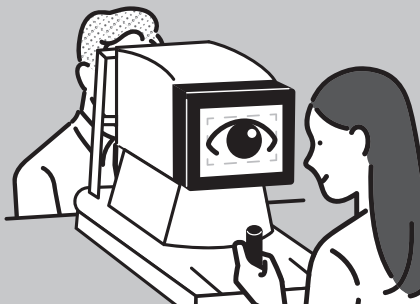
電波をはかり、  
スマホの品質向上を  
支援!



食べ物や薬に  
異物が入って  
いないか検査!



眼科診断機器の  
開発をサポート!



災害から町を守る  
仕組みにも  
貢献!



#### 会社情報

会社名 アンリツ株式会社 (ANRITSU CORPORATION)

創業 1895年

売上高 110,919百万円 (2023年3月期:連結)

事業内容 電子計測器、食品・医薬品の品質保証システム、環境計測器、デバイスなどの開発・製造・販売

※東証プライム市場上場

本社住所 神奈川県厚木市恩名5-1-1

資本金 19,218百万円 (2023年3月31日現在)

従業員数 4,144名(連結) (2023年3月31日現在)

Anritsu Advancing beyond

アンリツ株式会社

〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1  
www.anritsu.com

